

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	鉄筋コンクリート工学Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0019		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1			
開設学科	環境都市工学科		対象学年	4			
開設期	前期		週時間数	1			
教科書/教材	担当者作成の資料を用いる						
担当教員	青木 優介						
到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・道路橋示方書にもとづき、鉄筋コンクリート橋の設計計算書を作成できる。 ・設計方法の違いについて理解できる。 ・分野別セキュリティ問題にも取り組む 							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
設計計算書	正しく美しい設計計算書を期限までに作成できる		正しい設計計算書を期限までに作成できる		正しい設計計算書を作成できない		
設計法の違い	設計法の違いを他者に説明できる		設計法の違いを理解できる		設計法の違いを理解できない		
分野別セキュリティ	セキュリティ問題を他者と協議できる		セキュリティ問題を自分で理解できる		セキュリティ問題を理解できない		
学科の到達目標項目との関係							
JABEE B-2 準学士課程 2(1) 準学士課程 2(2)							
教育方法等							
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・後期で開講される「RC構造設計製図」に用いる設計計算書を作成する。 ・設計法の違いや構造細目についても、授業中の説明から理解する。 ・分野別セキュリティ問題にも取り組む 						
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・数人のグループを構成し、各自に与えられた設計条件のもと、設計計算書を作成する。 ・設計法の違いや構造細目については、授業の中で説明するので、よくメモしておくこと。 ・分野別セキュリティ問題ではグループディスカッションを行う。 						
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目は学修単位B科目であり、授業時間数と同等の自学自習を必要とする。 ・図書館に最新版の道路橋示方書が10冊導入されている。大いに参考にすること。 ・設計計算書はこの授業内で完結させること。後期の製図が作成できなくなる。 						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス			授業の方針や評価方法について学ぶ	
		2週	設計条件の確認 構造一般図の作成			設計条件を確認する 構造一般図を作成する	
		3週	床版の設計①			設計計算例にもとづき、床版の設計を行う	
		4週	床版の設計②			設計計算例にもとづき、床版の設計を行う	
		5週	床版の設計③			床版の設計計算チェックを受ける	
		6週	主桁の設計①			設計計算例にもとづき、主桁の設計を行う	
		7週	主桁の設計②			設計計算例にもとづき、主桁の設計を行う	
		8週	前期中間試験は行わず、 設計計算書の作成 授業アンケート			設計計算書の作成を行う 授業アンケートに回答する	
	2ndQ	9週	主桁の設計③			設計計算例にもとづき、主桁の設計を行う	
		10週	主桁の設計④			設計計算例にもとづき、主桁の設計を行う	
		11週	主桁の設計⑤			主桁の設計計算チェックを受ける	
		12週	主要図表の作成①			主要な図表を作成する	
		13週	主要図表の作成②			主要な図表を作成する	
		14週	設計計算書のピアチェック 設計計算書の提出			学生同士で設計計算書をチェック 設計計算書を提出する	
		15週	前期定期試験の返却 分野別セキュリティ問題			前期定期試験の返却を受ける 分野別セキュリティ問題に取り組む	
		16週					
評価割合							
	試験	設計計算書	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
設計計算書	50	0	0	0	0	0	50
設計法の違い	40	0	0	0	0	0	40
分野別セキュリティ	10	0	0	0	0	0	10